

「水晶複素容量センシング技術を用いた生産プロセス可視化の可能性」と「標準化の戦略的活用について」

2022年8月24日(水) 15:00~16:50

ZOOMによるWEB開催

申込締切：8月19日(金)



←参加申込QRコード

<申込URL>

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf0kxORL99hEdMunPQoKgmglFr8biKLbQbeMYv_DP0XEPUDw/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0

(受付開始 14:45)

15:00 開会挨拶

15:05~15:45 新潟大学による研究紹介 質疑応答10分含

**水晶複素容量センシング技術を用いた生産プロセス可視化の可能性
～複合的、曖昧な変化を数値化する～**

新潟大学 自然科学系（工学部） 教授 安部 隆 氏

本講演では複素容量(誘電、導電性)の僅かな変化を検知し可視化するセンシング技術について発表します。生産プロセス（劣化、熟成、濃度変化等）の各工程の数値化、インフラ、土壤、材料、乾燥状態等の各用途に特化したセンシングとアルゴリズムの開発について事例を紹介し、参加された方と生産現場の自動化推進の可能性を探査します。

15:50~16:45 一般財団法人 日本規格協会による講演 質疑応答10分含

標準化の戦略的活用と活用事例について

一般財団法人 日本規格協会 標準化アドバイザー 太田 道也 氏

優れた技術や商品の速やかな普及のためには標準化が有効で、標準化の活用によって自社の製品や技術の差別化並びに認知度やブランド力の向上を図ることができます。この講演では、標準化の目的や標準化体制の情報・認識を共有し、ルール形成とオープン・クローズ戦略について説明し、中堅・中小企業等を支援する新市場創造型標準化制度、並びに標準化の活用事例を紹介させていただきます。

16:45~16:50 閉会挨拶

主催：新潟大学地域創生推進機構 後援：新潟大学東京イノベーションクラブ、新潟大学産学連携協力会

お問い合わせ

新潟大学地域創生推進機構

TEL:025-262-7554 E-mail:onestop@adm.niigata-u.ac.jp